

東海道第四十九宿

東海道五十三次

土山 つちやま

鈴鹿峠を越えれば滋賀県土山町
 ここから土山宿に到着してはゆるい坂もだらだらと
 下ろして行く峠に出没した大蟹の話や坂上田
 村麻呂の鬼退治の伝説が残る



土山宿本陣



「坂は照る照る鈴鹿は曇る
 あいの土山雨が降ると鈴鹿

馬子唄に唄われた土山宿は、
 近江五宿の東端にあそ鈴鹿
 中央にある。立派な建
 物をひかえまた多賀大社の
 御代参街街道の分岐点の
 宿として賑わった。

構図の一部に見える
 田村川は坂上田村麿を
 祠る社の横を流れる川
 である。杉の大木が両側
 に林立し、昼なお暗い参
 道をもた田村神社は道
 中にも数少ない堂々たる
 社である。

名物うまいもの
 かにが坂館
 むかし、このあたりに出た
 カニの化け物の伝説から
 生まれた館。
 いが饅頭
 白田子と山栗を菓子に
 加工したも。

古い町並みが続き、本畑がのどかなる。

